

お店・イベントなどのお知らせ

	べらしお福祉住吉東店	コブン・カフェ	手づくりショップ・パンプ	田辺大根堂
こんなお店	名物は塩ラーメン！ サイドメニューも充実しています	メニューがどんどん進化しています！ 名物はサンドイッチ！	パンと焼き菓子のお店です 名物はふわふわのシフォンケーキ！	なごみ玄関で採れた野菜や乾物などを販売しています！
開店曜日	月～金曜日	月～金曜日	月～金曜日	毎週木曜日
開店時間	11:30～13:30	9:30～14:30	10:00～16:00	10:30～
備考	7月15日(月・祝)営業します	7月15日(月・祝)休み	7月15日(月・祝)休み	
	Family Friendly らふら	みんなのマーケット るびなす	るびなす みんなの食堂	まちかど喫茶 よさみ野 作業所
こんなお店	いろんな作業所で作った製品を集めて販売しています 名物は手作りトートバッグ！	堺市南区高倉台にある、就労支援のスーパーマーケットです！	高倉台にあるみんなの食堂土曜の朝集合！	なごみ地域交流スペースのふれあい喫茶です
開店曜日	火～土曜日	月～金曜日	第1土曜日	毎週木曜日
開店時間	10:00～16:00	10:00～17:00	11:00～14:00頃	10時～15時
備考		7月15日(月・祝)休み	参加費(子ども)100円 参加費(おとな)300円	
	なごみ食堂	ごはん倶楽部	オレンジカフェ ななしのごんべえ	
こんなお店	なごみ地域交流スペースで、参加者で調理して、みんなで食べます！調理が苦手な方も大歓迎です。	大領であい2階・地域交流スペースにて開催		
開店曜日	第3火曜日(7月16日)	第3木曜日(7月18日)	第2土曜日(7月13日)	
開店時間	16:00～19:00	17:00～20:00	14:00～16:00	
備考	参加費100円	参加費200円	参加費100円	

オレンジランプ上映会&アフタートーク



5月8日、錦秀会住吉区民センター小ホールにて『映画「オレンジランプ」上映会とアフタートーク』を開催しました。住吉区内地域包括支援センター連絡会と住吉区内ランチ連絡会の共催で、当日は150名を超えるたくさんの方にご参加いただくことができました。

アフタートークでは映画のモデルである若年性認知症当事者の丹野智文氏にお話しいただき、映画に出てきたエピソードについてや、日常生活上の工夫、現在の仕事についてなど、笑いも交えつつ認知症への強い熱い想いを語っていただきました。

講演中も講演後も、講師への質問や声掛けがたくさんあり、参加者の関心の高さが感じられました。我々も改めて認知症と向き合う勇気ときっかけをいただく機会になりました。



Vol.250

ライフサポートだより

2024年7月号
(社福)ライフサポート協会
〒558-0054
大阪市住吉区東粉浜5-10-15
☎06-6676-0753
✉info@lifesupport.or.jp

かいどう ひっこ じらふ街道 引越しました!

5月10日、11日の2日間でじらふ街道の引越しをしました。以前から引越したいなという構想はありながらも、なかなか条件に合う物件が見つからず……そんな中、上田施設長に今回の物件をご紹介いただき、すぐに内見に行き、今回の引越しが実現しました。10日は、利用者さん退所後の17時30分から作業スタート！他部署の職員にもヘルプを依頼して、荷物の梱包、運び出し、運搬、搬入のチームに分かれて実施しました。引越しを機に思い切って断捨離もできたので一石二鳥でした♪



新・じらふ街道の玄関
この後インターホンを設置しました



プレイルーム①
左右の机は自立課題やオセロ、勉強、食事などにボールやトランポリンで身体を使った遊びもOK!
※手前に写っている灰色の物はロッカーです

11日は、じらふ街道のスタッフで、実際に利用者さんが来た時をイメージしながら「こっちがいいかな? こういうのはどう?」とみんなでアイデアを出しあいながら整理・調整していきました。引越してから1ヶ月が経ち、「新しい街道、広くなったな~」「この部屋はなにがある?」「こんなことがしたい!!」など利用者さんも興味津々で話してくれています(^_^) じらふの職員・スタッフだけではできないことも、困っ

たところは周囲に頼って、助けてもらうことで念願の引越しができました。改めて法人内での部署を越えたつながりが心強いと感じました。

ご協力いただいた職員・スタッフの皆さま、この場を借りて改めて感謝申し上げます。今後も引き続き、過ごすひとにとって安心できる環境を、みんなで作っていけたらと思います。

プレイルーム②
集団から離れてゆっくり過ごせるスペースとして奥の部屋を活用しています
キッチンを使つての調理企画もここでを行います



NEW! じらふ街道

住吉薬産 喜久寿

洋食やるく 本店

住吉

旧・じらふ街道

住吉

〒558-0051

おおさかすみよしひがしこはま ちょうめ

大阪市住吉区東粉浜3丁目31-21

あじさい さ きれいな紫陽花が咲きました!

なごみデイサービス

なごみデイ園芸部が育てた紫陽花が綺麗に咲きました。いつもの散歩道でハイ! チーズ!!
ピンクの紫陽花の花言葉は元気な女性、強い愛情だそうです。なごみデイのご利用者様にピッタリ! です。
紫陽花があるおかげで雨のうっとうしい日も嬉しくなります。来年はもっと大きくなって綺麗な花を咲かせてくれるでしょう。



なごみデイ ちひ いわ 父の日のお祝い!

なごみデイサービス



6月16日は父の日でした。なごみデイでもお祝いをさせていただきました。優しいお父さん、厳しいお父さん!
なごみデイのお父さんは皆さん優しいお父さんです。今の時代は友達みたいなお父さんが流行っているらしいですよ!
昭和を生きぬいて来られたお父さん。今の日本の平和があるのはお父さん達のおかげです。これからもお身体を大切に、長くデイに来てくださいね。

ながいしょう しゃ 長居障がい者スポーツセンターへ

さきょうしょう
オガリ作業所
じゃんぶ班

5月24日(金)、じゃんぶ班で大阪市長居障がい者スポーツセンター(スポセン)のトランポリンがある体育館に行きました。体育館に入ると一目散にトランポリンのところへ行き、ジャンプしてトランポリンの感覚を楽しんでおられるメンバーさんがいたり、バスケットボールを渡すと上手にドリブルされ、1発でシュートを決められる運動神経抜群なメンバーさんがいたり、久しぶりのスポセンを楽しまれている様子でした。
コロナの影響でずっと行くことができていなかったスポセンによろやく行くことができ、メンバーさんの普段見ることができない姿を見ることができました。
じゃんぶ班では体を動かしたいという需要があるので、来月以降も月1回のペースでスポセンに行こうと考えています。



てづかやまおんがくさい しゅってん 帝塚山音楽祭に出展しました

すみよくきたちいきほうかつしえん
住吉区北地域包括支援センター



2024年5月25日、帝塚山音楽祭で【謎解きウォークラリーイン万代池公園】【介護・福祉の無料なんでも相談会】のブースを出展しました。
包括、ランチ、C S W、オレンジチームの周知、謎を解きながら隠されたスタンプを探してもらい、見つけれられた方には景品をプレゼントさせていただきました。
天候に恵まれ、たくさんの方にご参加いただき、スタッフも一緒に楽しく行うことができました。

れんさい 連載コラム このころの相談ネット「ふうが」ってどんなところ?

◆地域活動支援センター 生活支援型 ふうがサロンの運営スローガン

しょう しっぺい りゆう はいじょ かんり
障がいや疾病を理由に「排除せず、管理せず、しかし配慮する」

～サロンを利用するすべての人と大切にしたいこと～

はいじょ かんり はいりょ くまもとがくえんだい はなだきょうじゅ さいがいじ ひなんじょうえい ほうこく
「排除せず、管理せず、しかし配慮する」(熊本学園大・花田教授 災害時における避難所運営の報告より)

2016年に発災した熊本地震において、「排除、管理しないという当たり前の原則」を大切にしながら、学校を避難所として自主開放された熊本学園大学。ご縁があり、当法人の介護職員が避難所運営の応援に行かせてもらった繋がりもあります。熊本学園大学には水俣病の研究者も多くおられ、学校関係者の人権意識が高く、被災された住民さんへの支援において、みんな、災害が起きるまで一緒に地域で暮らしていた「住民」である介護を要する人や障がいのある人たちなどを「福祉避難所へ」という考え方を取らず、「配慮する」(同大学 黒木准教授)ことで、避難生活をともにする選択できるように考えられました。また、「学校の都合で避難所を閉鎖しない。避難したすべての人が生活再建できるまで支援を継続する」という方針は、目の前の人を支えるという、福祉の原点に通じる姿勢であると感銘を受けました。

東日本大震災後、避難生活に支援を要する人達が、少しでもサポートを受けることができる環境のために「福祉避難所への避難」という選択肢が勧められていくなかで、熊本学園大学さんの実践は福祉に携わる者として大切な視点を示されていると感じます。

ふうが的に言うなれば、障がいや疾病を理由に排除しない、過剰な管理もしない。サロンを利用するすべての人(利用者・地域住民・ボランティア・実習生・職員)が安心して過ごせる場であることを大切にしたいと考えています。これらは、誰かだけがその役割を担って、提供するものではなく、「地域の一員」としてサロンを利用するひとりひとりが相互関係のなかでお互いを労いあい、大切にしていこうと、この思いが、サロンから地域へと広がっていくことで、誰もが暮らしやすい地域になることを信じています。